

JR東日本輸送サービス労働組合 東京総合車両センター支部結成！

4月16日、JTSU—E東京総合車両センター支部が結成されました。新型コロナウイルス対策を万全にして開催された結成大会では、当面する運動方針、暫定予算、規約など、全ての議案を満場一致で採択し、新前澤委員長のもと新たな歴史を刻み始めました。

結成スローガン

- ・矢継ぎ早に提案される施策に対し職場活動の強化で安全で働きがいのある健全な職場を構築しよう！
- ・組合員間の信頼を強固にし、何でも言い合える温かみのある組織をつくりだそう！
- ・組合員と家族の利益を守るため、全組合員で不当労働行為に立ち向かおう！

前澤準備委員長あいさつ

- ・18春闘以降ゆっくり進んでいた時間が普通に動き出した。
- ・組合員を守るために新たな組織に結集する。向き合う相手は会社だ。
- ・今こそ組合の真価、存在意義が問われている。
- ・今日新たに加入した仲間がいる。まだ数は少ないが問われるのは質だ。自分たちの未来を自分たちできりひらこう！

☆質疑での主な意見☆

- ・結成の意義は十分伝わってきている。
- ・コロナ禍の中で、会社のあいまいさに対し事業継続計画（BCP）を求めてほしい。
- ・組合の未加入者が増えて個と企業になれば様々な不利益がかかってくる。今が組織化のチャンスだ。掲示板設置を求めて発信してほしい。
- ・自分の職場が委託されたが、教育も作業場も全く遅れていて、まさに実施日ありきの委託だ。
- ・3年間出向で出ている。出向先の労働条件はないに等しい。
- ・新型コロナウイルスの感染防止策と対応について、会社に聞いてほしい。
- ・ここまでやっときた。まだ少数だがしっかり体制をつくっていこう。

松崎準備事務長まとめ

- ・安全衛生委員会の形が見えない。ウィルス対策についてしっかりと発信し、政策立案と実現に向けて取り組んでいく。黙っていたら感染拡大になりかねない。
- ・私たちには労働者代表選挙の過程で積み重ねてきたものがある。よりよい職場をめざしていく。
- ・組合員の集まる場をつくっていく。組合員に行動で示していこう。